

放課後児童クラブについてのアンケート
調査結果報告書

2010年2月19日

目 次

目次	1
調査実施概要	2

アンケート調査結果の詳細

児童クラブのモットー	3～6
平成 21 年度の定員	7
平成 21 年度の応募数	8
定員を超えた場合の優先選考基準	9～10
保護者からの『土曜開催』についての要望	11
平日の受入れ終了時刻	12
保護者からの『受入れ時間延長』についての要望	13
保護者負担金を保護者はどのように感じているか	14
保護者から『定員』についての要望	15
保護者からの『受入れ対象学年』についての要望	16
施設について保護者が不安に感じていること	17
保護者からの要望	18
児童を預かるうえで困難なこと	19～20
保護者との関係で困難なこと	21
指導員の待遇の見直し	22～23
施設についての要望	24～26
学校や教育委員会への要望	27～28
その他の意見	29～30
放課後児童クラブについてのアンケート（調査票）	31～35

調査実施概要

調査実施方法

1. 調査実施方法（配布時）：郵送調査と訪問面接調査
2. 調査実施方法（回収時）：訪問回収と FAX 回収
3. 調査対象者：岡山市内にある放課後児童クラブ 82 施設
4. 調査票配布数：82 サンプル
5. 回収数：68 サンプル
6. 回収率：82.9%
7. 有効回答率：82.9%

調査票	施設数（サンプル数）
配布数	82
回収数	68
拒否・未回収	14

調査実施日

2010年2月1日（月）～2010年2月13日（土）

※少数点以下を四捨五入する端数処理の関係で、各数値の合計が 100%にならない場合も 100%としております。

《省略文字の説明》

- ※ N：全サンプル数
- ※ n：各属性のサンプル数
- ※ SA：単数回答
- ※ MA：複数回答
- ※ 記述：記述式回答

児童クラブのモットー(記述) (n=56,無回答=12)

児童クラブのモットー(指針)についてそれぞれの施設に記述をしてもらった。

アンケートの結果より児童クラブのモットーの内容を『子どもについて』・『親(保護者)について』・『地域について』・『安心・安全について』・『その他』の5つの観点で分類を行なった。

子どもについて
人の話に耳を傾け、自分で考え、表現できる力を育てる
自分のことが好きだと思える気持ちを育てる
様々な価値観を認めることができる心を育てる
人を思いやる心を育てる
心身ともに健康で、生活する力を育てる
強い心で最後まで頑張る力を育てる
成長してから人の気持ちになって考えられる人
自分でやって良い事なのか、悪い事なのかを考えられる人に育って欲しい
どの子も育つ育て方ひとつ
適切な遊びや生活の場を与えて、子供たちを心身ともに健やかに育てる
元気に楽しく遊ぶ！
いじめは絶対に許さない！
この児童クラブは、保護者が労働等により昼間家庭にいない当クラブ児童の健全育成を目的とする
元気に楽しく毎日を過ごそう
明るく、仲良く、元気良く
どの子も「大切にされている」と感じる安心感を育む
声かけ合って、つながり合い、認め合える中で仲間への信頼感を育てる
自分に「値うち」と「誇り」が持てる子どもを育てる
文化・遊びを通して、豊かな感性と社会性を育む
助け合ってみんなで仲良く
仲良く、楽しく、元気良く
元気に楽しく遊ぶ
楽しく、明るく
楽しく、元気に
のびのみ元気な子
子供達が共同生活の中で、様々なグループ活動を通じ、友情と責任感を育てる。基本的態度、しつけを養う。
子供が愛されていると実感できるクラブ
手足に知恵のついた創造力豊かな子を育てる
他人の事を思いやれる想像力豊かな子を育てる
ありのままを受入れる素直な子を育てる
生活指導。学習(宿題の声かけ)。自由遊びなどの指導。
集団の中で協調性を育てる
個々の個性を伸ばし心を育てる
物事に自主的に取り組める子に育てる

ひとりひとりの子どもたちの心にいつも寄り添えるように
子供がリラックスする様、指導員はおじいちゃん・おばあちゃんになること。その為、天気の良い日は運動場で十分遊ばせること。
クラブの自由な雰囲気の中で子供達が友達や指導員と関わりながら色々なことを経験したり、学んだりして成長していけるようにする
生活する力のある子供 色々な事に挑戦する子供 お友達を思いやることができる子供

親（保護者）について
保護者の方が安心して働けるよう保育する

地域について
地域の中での当クラブ

安全・安心について
安全、安心な生活
安全、安心なクラブ
安心、安全な放課後の生活
安全・安心して過ごせる子供の居場所づくり、「走って帰りたくなるクラブ」
元気で仲良く放課後を安全に過ごす事と1年生から3年生までで、集団行動することです。 それぞれの季節の行事をします。
安全、安心
子ども達が、安心・安全に過ごせるよう支援する
安心安全が保育目標です
安全で楽しく過ごせる事

その他について
学校を大切に、家庭を大切に
放課後の自由でのびのびした遊びを中心とした活動
助け合い、やさしさ、楽しく通える場所
放課後の子どもの居場所 「心のつながり」「心のはり」「心のよりどころ」を大切にする
家庭に帰ったようなくつろげる空間
家庭と同じで毎日帰りたくなる様な教室
子供達が帰って来て「ほっ」とできる居場所であること

複数の要素を含む(要素2つ)		
子ども	親(保護者)	保護者の方が安心して仕事ができる子供の居場所 集団の中で仲間と一緒に工夫して遊び、異年令の子供達が一緒に遊ぶ力を身に付けること
子ども	親(保護者)	働く親に誓って良い事、悪い事を教えてあげたい。お友達と仲良く、楽しいクラブにしていきたい。
子ども	地域	違う学年との交流 自覚の芽生え 地域交流
子ども	地域	健康や安全に留意し、約束やルールを守り、生活に必要な生活習慣を身に付ける 異年令の集団生活の中で、遊びの楽しさを知り、コミュニケーション力を身に付ける 自分の気持ちや考えを伝えることができ、人の気持ちも受入れて仲間意識を深める 地域との関わりの中で豊かな心を育てる
子ども	地域	安全ですこやかな活動ができる場所として、異年令の子ども達と交流を促進しながら、地域の方々のご協力を頂いて運営をしています。
子ども	安心・安全	親が家庭にいない間(親の労働権)、子どものことをしっかり受け止め(子どもの発達権)、一緒に生活する大人(指導員)の援助と、毎日安心して生活できる場所
子ども	安心・安全	子供たちが放課後の時間を安全に明るくのびのびと過ごせるようにする 異年令の子どもたちが放課後の時間を共にする中で仲間との連帯感や協調性、他人に対する思いやりの心を身につけることができるよう指導
子ども	その他	規則正しい生活(早起き・早寝・朝ごはんを食べて) 決まりを守る(外遊び等) 楽しんでクラブに来ることができるよう放課後の居場所づくりを心がけている
子ども	その他	ひとりひとりが居心地の良い空間づくり 友達と助け合い、仲間づくりをしていく
親(保護者)	安心・安全	保護者の方が安心してお勤めできるように放課後や夏休み等、お子さんをお預かりしています。家に帰るまでの間、楽しく安全に過ごしてもらえたらと思っています。
親(保護者)	安心・安全	安全第一、ご両親が安心して働けるように
安心・安全	その他	子供の安心・安全を基本に家庭的な雰囲気の中で一人一人の子供の気持ちに寄り添う保育

複数の要素を含む(要素3つ)			
子ども	親(保護者)	地域	子どもを中心に保護者と地域と指導員が一体となって子育てをする
子ども	安心・安全	その他	安心:子供達が進んで帰ってきたくるように安心して任せる居場所づくりに努める。そのためには人とのつながりを大切に。 安全:交通事故や不審者などから子供達の生命と安全を守る 期待:子供達がいきいきと育ち「当クラブに行行って良かった」と喜びあえるようにする
子ども	親(保護者)	地域	保護者が安心して働けるよう、子どもたちが異年令集団の中で豊かな心を持ち、自ら考え行動できるように手助けをし、地域と共に育てていく

複数の要素を含む(要素4つ)				
子ども	親 (保護者)	地域	安心・ 安全	<p>○生命を大切にして自分を好きといえる子に 人の話をよく聞き、思いやりを持って行動できる子 みんなで生活すること、遊ぶことを大切にする子 働くこと、つくること、工夫することに喜びを持てる子 どんなことでも最後まであきらめないでがんばれる子 健康で生活体力のある子</p> <p>○子どもたちが主体となった居場所づくり 子どもたちが安心して生活できる場所 お互いを大切にし合い、ひとりひとりが主人公となれる場所 ひらめいたアイデアや発想が出し合える場所 家庭、地域と連携する共同の子育ての場所</p>

平成 21 年度の定員(記述) (N=68)

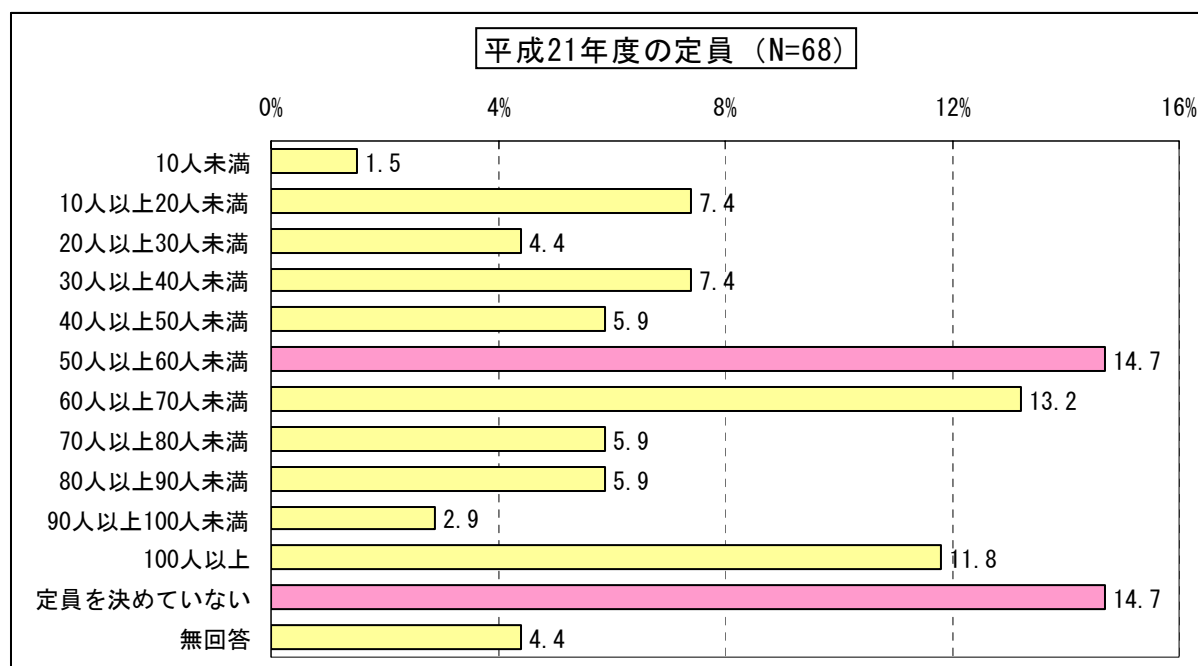
定員の平均人数 60 人

平成 21 年度の定員についてたずねたところ、もっとも少ない定員数は 7 人で、もっとも多い定員数は 140 人だった。また、『定員を定めていない』としたところも 10 施設あった。

『定員を定めていない』とした 10 施設と無回答の 3 施設の計 13 施設を除いた 55 施設の定員を平均すると 60 人であった。

また、施設によっては春・夏・冬休みの長期休暇のみ預かる場合、応募があれば全員を受入れるため定員を設けていない場合、反対に子どもの数が少ないため定員を設けていない場合など、施設によって定員の状況には大きな開きがあった。

定員数	(n)	(%)
10 人未満	1	1.5
10 人以上 20 人未満	5	7.4
20 人以上 30 人未満	3	4.4
30 人以上 40 人未満	5	7.4
40 人以上 50 人未満	4	5.9
50 人以上 60 人未満	10	14.7
60 人以上 70 人未満	9	13.2
70 人以上 80 人未満	4	5.9
80 人以上 90 人未満	4	5.9
90 人以上 100 人未満	2	2.9
100 人以上	8	11.8
定員を決めていない	10	14.7
無回答	3	4.4
合計	68	100



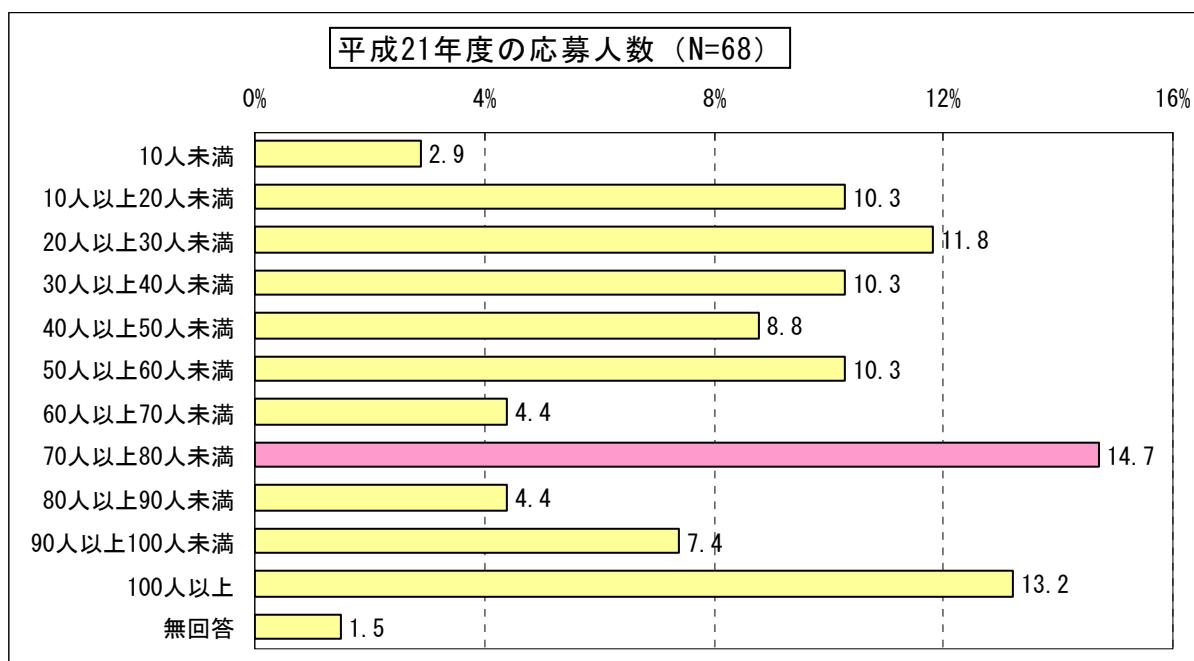
平成 21 年度の応募数(記述) (N=68)

応募数の平均人数 59 人

平成 21 年度に応募数はどのくらいだったかをたずねたところ、もっとも少ない応募数は 5 人で、もっとも多い応募数は 140 人だった。無回答の 1 施設を除いた 67 施設の応募数を平均すると 59 人だった。

前問の結果より定員の平均人数は 60 人のため、応募数の平均人数が 59 人であった場合、施設の収容人数を大きく上回るものとする。よって、施設によっては平成 21 年度の応募数以外の他の数を書いた可能性もあると言える。

応募数	(n)	(%)
10 人未満	2	2.9
10 人以上 20 人未満	7	10.3
20 人以上 30 人未満	8	11.8
30 人以上 40 人未満	7	10.3
40 人以上 50 人未満	6	8.8
50 人以上 60 人未満	7	10.3
60 人以上 70 人未満	3	4.4
70 人以上 80 人未満	10	14.7
80 人以上 90 人未満	3	4.4
90 人以上 100 人未満	5	7.4
100 人以上	9	13.2
無回答	1	1.5
合計	68	100



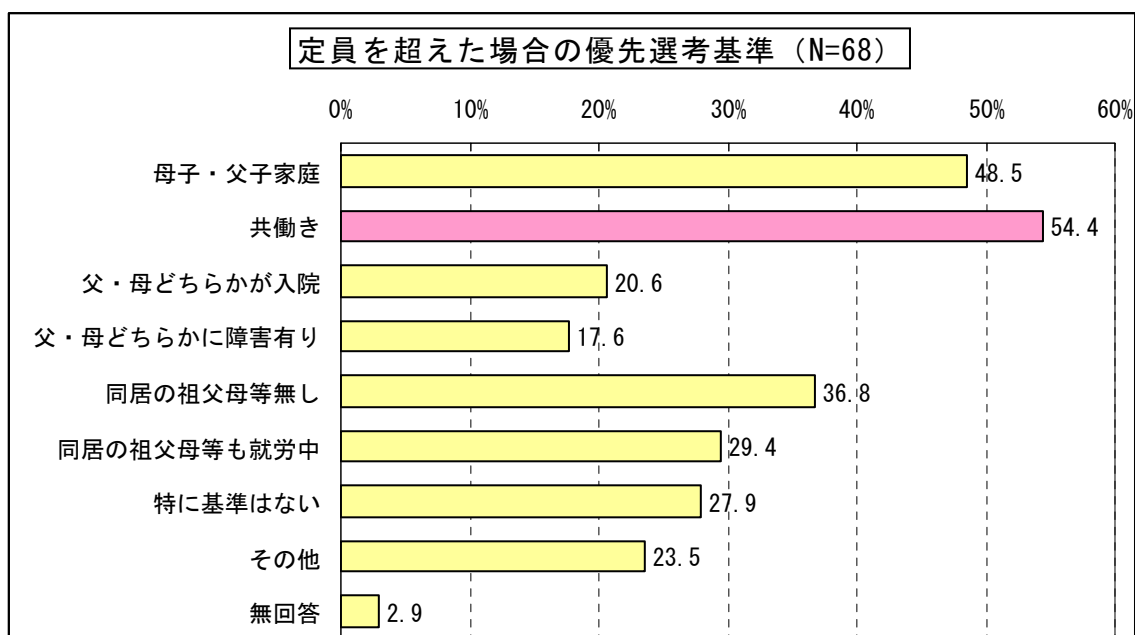
定員を超えた場合の優先選考基準 (MA) (n=68)

共働き 54.4%

定員を超えた時に優先させる選考基準について複数選択で選んでもらった。

その結果、『共働き』と答えた施設がもっとも多く 54.4%を占めていた。続いて『母子・父子家庭』が 48.5%、『同居の祖父母等無し』が 36.8%となっていた。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	母子・父子家庭	33	48.5
2	共働き	37	54.4
3	父・母どちらかが入院	14	20.6
4	父・母どちらかに障害有り	12	17.6
5	同居の祖父母等無し	25	36.8
6	同居の祖父母等も就労中	20	29.4
7	特に基準はない	19	27.9
8	その他	16	23.5
	無回答	2	2.9



【『その他』の回答】

運営委員会会則に基づく
現在は全員を受入れています。特にありません。
ポイント制にし、母子・父子家庭、同居祖父母有無、学区内祖父母有無、就労状況等・・困難な家庭状況などポイントを高くし、その点数により選考させよう。
定員を超えることはまずないです
共働きは、絶対条件。
家庭保育不可能な場合、生活状況を把握した上で選考
学年の低い順
放課後留守家庭となる児童
低学年優先
低学年

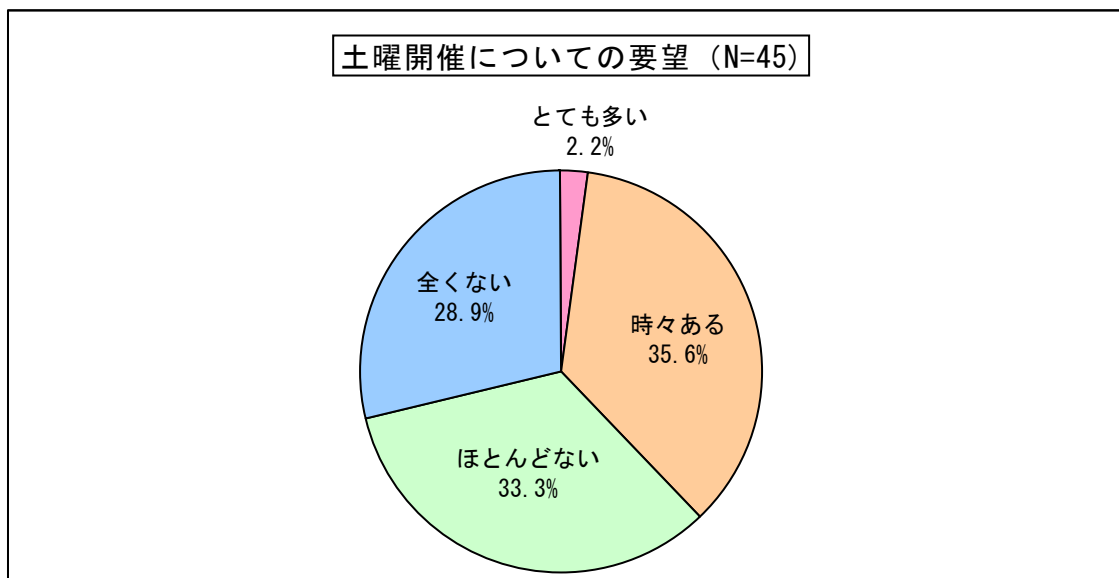
保護者からの『土曜開催』についての要望 (SA) (n=45)

時々ある 35.6%

現在、土曜日の受入れを行っていない施設に、保護者から『土曜日の開催』を望む声がどのくらいあるのかたずねたところ、『時々ある』と答えた施設がもっとも多く35.6%だった。

一方、『ほとんどない』の33.3%と『全くない』の28.9%をそれぞれ合わせると62.2%となり、現在土曜日の受入れを行っていない施設のうち2/3には、保護者から『土曜開催』の要望がないことが分かった。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	とても多い	1	2.2
2	時々ある	16	35.6
3	ほとんどない	15	33.3
4	全くない	13	28.9
	合計	45	100



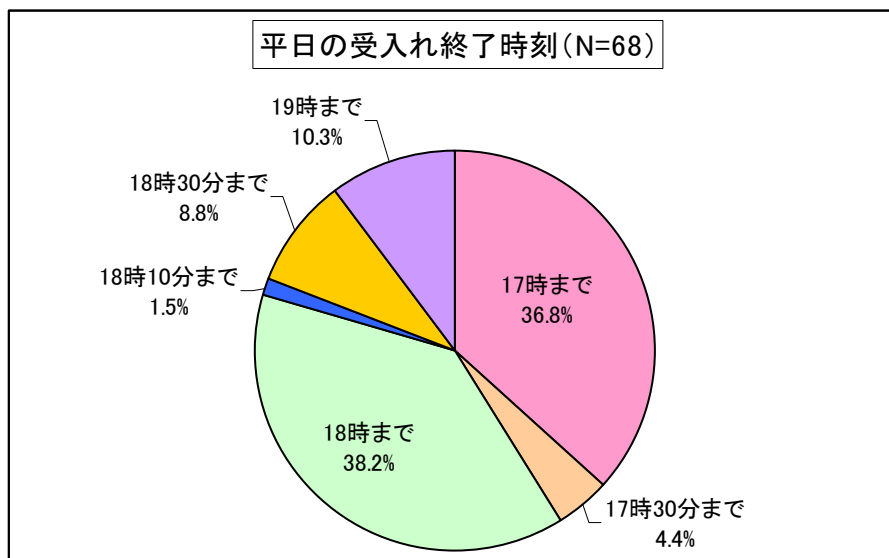
平日の受入れ終了時刻(記述) (N=68)

18時まで 38.2%

平日の受入れ終了時刻をたずねたところ、『18時まで』と答えた施設がもっとも多く 38.2%だった。しかし、『17時まで』と答えた施設も 36.8%を占めており、終了時刻を『18時まで』もしくは『17時まで』としている施設が多いことが分かった。

また、アンケートの結果より、多くの施設で本来の受入れ時間よりも 30分～1時間ほど延長して対応している実態があることも分かった。

受入れ終了時刻	(n)	(%)
17時まで	25	36.8
17時30分まで	3	4.4
18時まで	26	38.2
18時10分まで	1	1.5
18時30分まで	6	8.8
19時まで	7	10.3
合計	68	100



保護者からの『受入れ時間延長』についての要望(SA) (N=68)

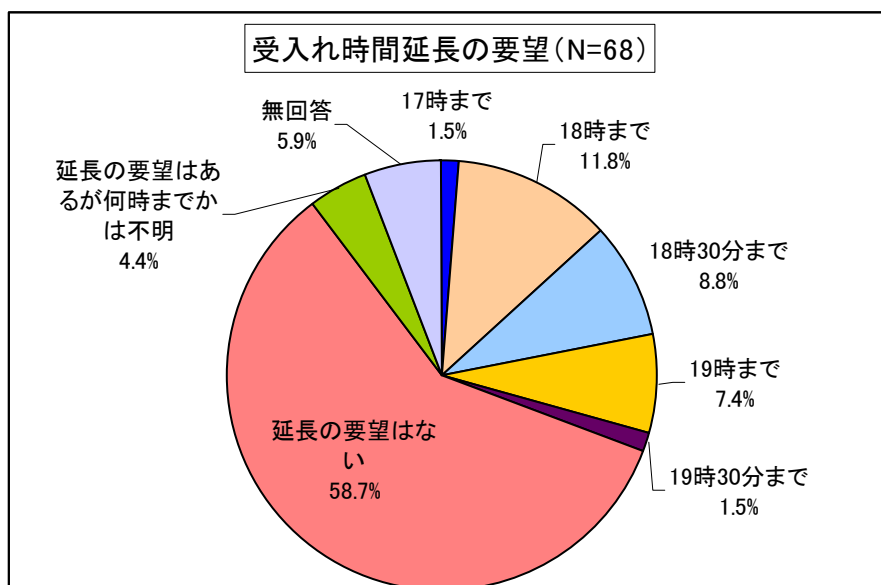
延長の要望はない 58.8%

保護者から『受入れ時間延長』について何時までの要望があるのかたずねたところ、『延長の要望はない』が 58.8% でもっとも多かった。

前問の結果より、既に受入れ時間を延長して対応している施設も多かったため『延長の要望はない』が約 6 割を占める結果となったのかも知れない。

『17時まで』も 1 施設あるが、選択肢の選択ミスによるものと思われる。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	17時まで	1	1.5
2	17時30分まで	0	0
3	18時まで	8	11.8
4	18時30分まで	6	8.8
5	19時まで	5	7.4
6	19時30分まで	1	1.5
7	20時まで	0	0
8	それ以上	0	0
9	延長の要望はない	40	58.8
10	延長の要望はあるが何時までかは不明	3	4.4
	無回答	4	5.9
	合計	68	100



保護者負担金を保護者はどのように感じているか(SA) (n=68)

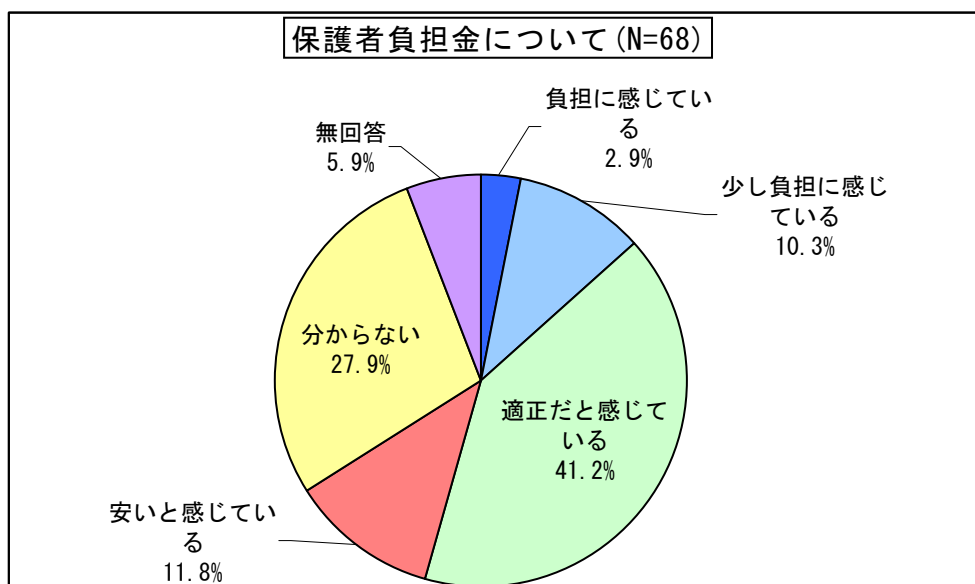
適正だと感じている 41.2%

『保護者負担金 (おやつ代は別)』を保護者がどのように感じているかたずねたところ、『適正だと感じている』と答えた施設がもっとも多く 41.2%だった。

各施設によって保護者負担金の額に差があるが、約 4 割の施設において保護者が『適正だと感じている』のかは、今回の調査では分からなかった。

一方、『分からない』とした施設も 27.9%を占めており、保護者から保護者負担金について意見がない、もしくは、保護者の意見を把握し難い状況にあると考える。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	負担に感じている	2	2.9
2	少し負担に感じている	7	10.3
3	適正だと感じている	28	41.2
4	安いと感じている	8	11.8
5	分からない	19	27.9
	無回答	4	5.9
	合計	68	100



保護者から『定員』についての要望(SA) (N=68)

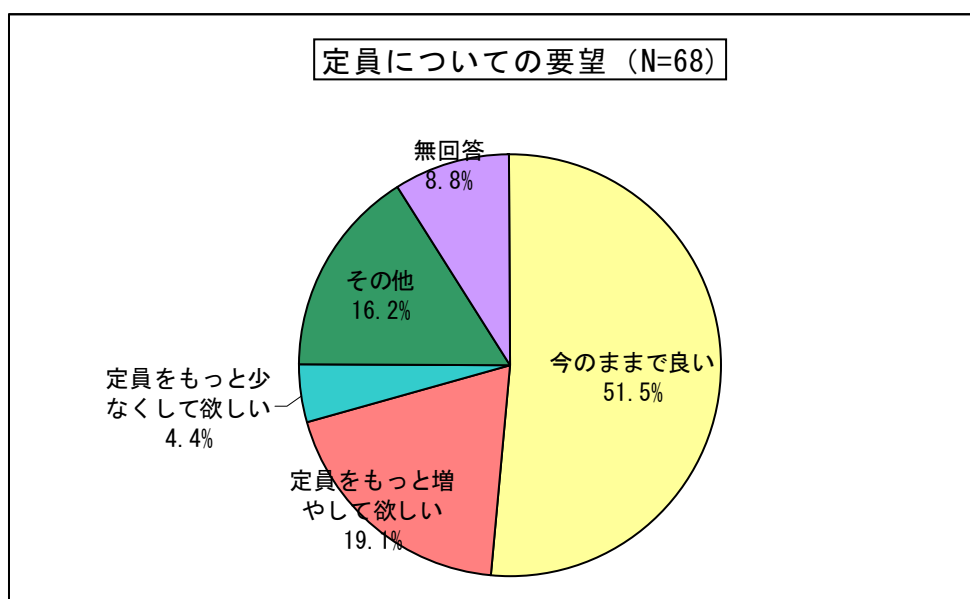
今のままで良い 51.5%

保護者から『定員』についてどのような要望があるかたずねたところ、『今のままで良い』と答えた施設がもっとも多く 51.5%だった。

『平成 21 年度の定員』において、応募があれば全員を受入れる施設や定員を定めていない施設も多かったため、『今のままで良い』が半数を超えたのかも知れない。

一方『定員をもっと増やして欲しい』も 19.1%あり、施設によっては応募者数が定員を超えてしまい預かることができない『待機児童』の問題があると考えられる。また、児童数が多く適正な人数（45 人程度）を望む意見もあった。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	今のままで良い	35	51.5
2	定員をもっと増やして欲しい	13	19.1
3	定員をもっと少なくして欲しい	3	4.4
4	その他	11	16.2
	無回答	6	8.8
	合計	68	100



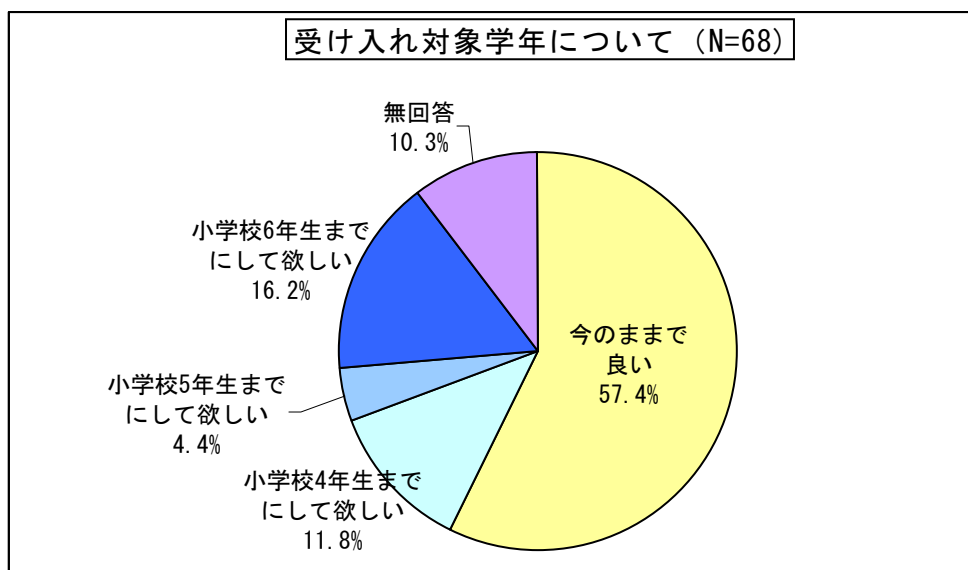
保護者からの『受入れ対象学年』についての要望(SA) (N=68)

今のままで良い 57.4%

保護者から『受入れ対象学年』について何年生までを要望されるかたずねたところ、『今のままで良い』が 57.4%でもっとも多かった。児童クラブが対象とする学年は小学校1年生～3年生までであるが、『今のままで良い』と回答した施設の中には、既に小学校4年生・小学校5年生・小学校6年生までを預かっている場合もあった。そのため『今のままで良い』=小学校1年生～3年生を差していない為、実際にどの程度の保護者が小学校1年生～小学校3年生までで良いと感じているのかは正確にはつかめなかった。

しかし、『小学校4年生までにして欲しい』が 11.8%、『小学校5年生までにして欲しい』が 4.4%、『小学校6年生までにして欲しい』が 16.2%を占めており、それぞれを合わせると 32.4%を占めていることから、小学校3年生までではなくさらに上の学年になっても預かって欲しいと保護者が感じていることが分かった。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	今のままで良い	39	57.4
2	小学校4年生までにして欲しい	8	11.8
3	小学校5年生までにして欲しい	3	4.4
4	小学校6年生までにして欲しい	11	16.2
	無回答	7	10.3
	合計	68	100



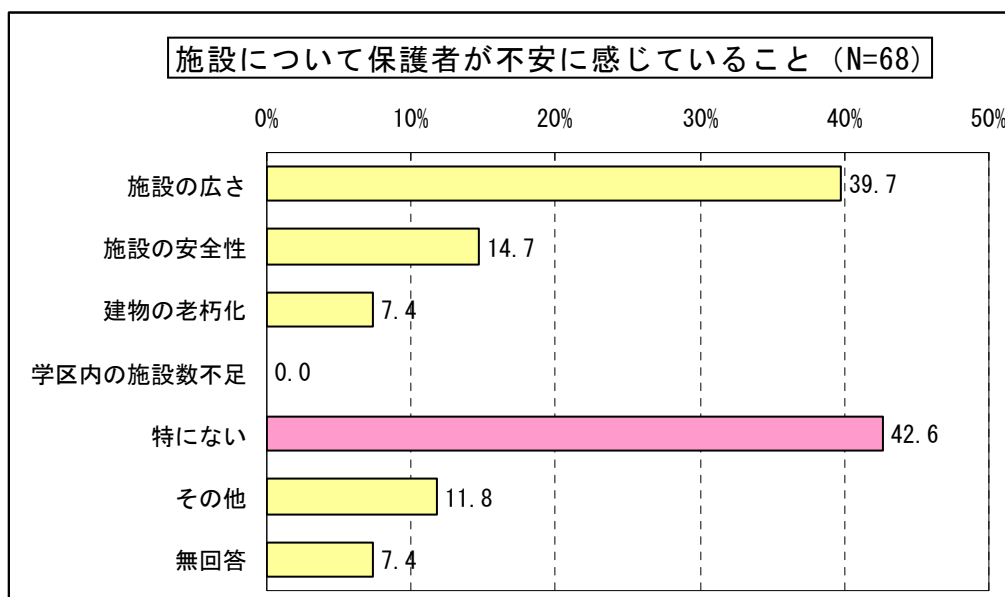
施設について保護者が不安に感じていること(MA) (N=68)

特にない 42.6%

施設について保護者がどのようなことを不安に感じているかをたずねたところ、『特にない』が 42.6%でもっとも多かった。次いで『施設の広さ』が 39.7%を占めていることから、児童数に対する施設の広さについて保護者は不安に感じているものと思われる。

また『その他』の意見として、児童クラブの専用のトイレがないというのが多かった。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	施設の広さ	27	39.7
2	施設の安全性	10	14.7
3	建物の老朽化	5	7.4
4	学区内の施設数不足	0	0
5	特にない	29	42.6
6	その他	8	11.8
	無回答	5	7.4



【『その他』の回答】

温度調整できにくい(プレハブの為)
学校の児童数の減少に伴い、入所数も減少傾向
水道・トイレの数がもっと欲しい。トイレまで屋根がないので雨が降ると困る。
子供の体調が悪くても保健室のようにきちっとした場所がなく休めない(部屋の隅に寝かせている)。
クラブに専用トイレがない。安全面からも是非欲しい。
公共の建物である地域コミュニティハウスで、児童クラブを優先的に使用し続けるのはどうか。
静養スペースがないこと。事務スペースがないこと。収納スペースがないこと
雨降りの時にトイレに行きにくい。手洗い場に屋根がない。
2クラブとも同じ条件の方が良い

保護者からの要望(記述) (n=18)

保護者から児童クラブにどのような要望があるか記述してもらった。

アンケートの結果より保護者からの要望を『宿題』・『しつけ』・『その他』の3つの観点で分類した。

宿題について	
塾の宿題を見て欲しい	
「宿題を必ずさせて欲しい」とよく要望されるのですが、男の子は学校から帰って来て直に取りかかれなくて、こっそり部屋を抜け出してしまいます。	
宿題をきちんとさせて欲しい	
「宿題を見て欲しい」しかし、それはできない。現実には、見ている事もある。	
もっと宿題を見て欲しい	
宿題をして欲しい。勉強の時間を増やして欲しい	
宿題をして欲しい	

しつけについて	
しっかりしつけて欲しい！悪い事をした時は、叱って欲しい！	

その他について	
夏休みだけの入所希望は結構多い。	
夏休みのキャンプ冬のスキー（親子行事で）	
長期休み中の保護者ボランティア	
大規模クラブを分割させるためにはどのような運動が必要か	
岡山市内でも保育料や定員、対象学年、開設時間に差があるので、ニーズに合ったものに統一して欲しい。現在、自宅のある学区では17時までの学童保育所しかないので安心して預けられないからとやまびこクラブに入るため学区外入学をしている方もいる。	
指導員の雇用は、各クラブで行なっているため保証面は十分にできない。公的な組織による雇用はできないのか。	
児童クラブ連合会は、保護者や指導員の願いを形にすべく活発な協議や活動をして欲しい。	
指導員の問題。人がいない。	
時間外を無料でして欲しい	
駐車場を増やして欲しい。延長を19時30分までにして欲しい。	

それぞれについて		
しつけ	その他	障害児の療育に詳しい指導員も増員して欲しい。学習面をもっと丁寧に見て欲しい。(学校の宿題・課題。塾・通信教室の宿題・課題等)
宿題	その他	クラブでどのように過ごしているのか常時教えて欲しい。宿題をクラブにいる間に済ませ、内容も指導して欲しい

児童を預かるうえで困難なこと(MA) (N=68)

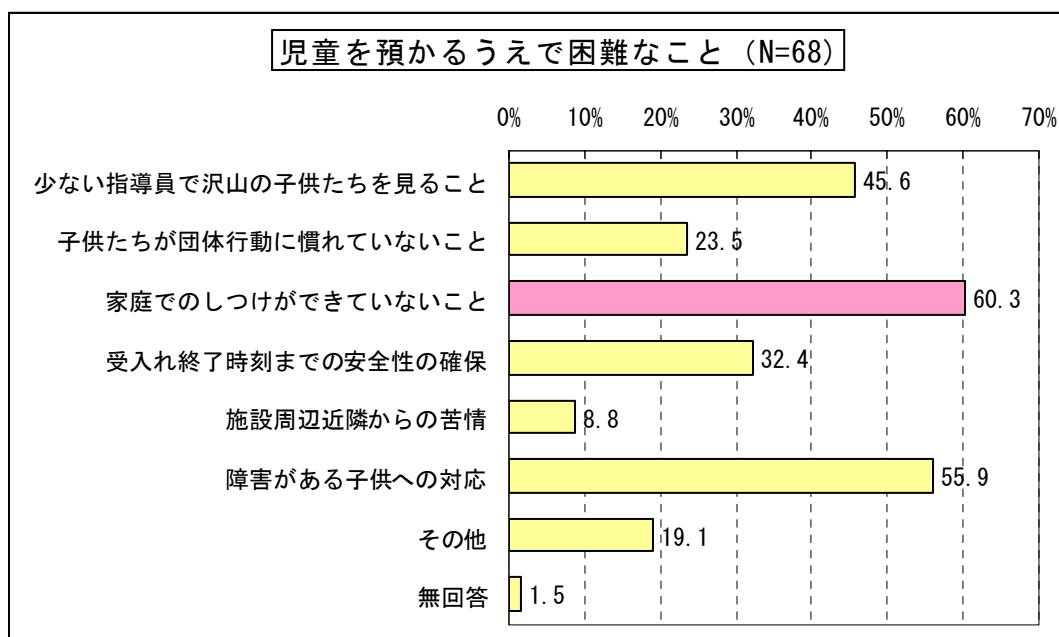
家庭でのしつけができていないこと 60.3%

児童を預かるうえで『難しい』・『困った』と感じることについて複数回答で選んでもらった。

その結果、『家庭でのしつけができていないこと』と答えた施設がもっとも多く 60.3%だった。続いて『障害がある子供への対応』が 55.9%、『少ない指導員で沢山の子供たちを見ること』が 45.6%となっていた。『しつけ』『障害』『指導員数』について、多くの施設が『難しい』・『困った』と感じていることが分かった。

また、『その他』の回答より、『病気や怪我をした児童への対応』・『保護者が子どもの状態を正しく伝えてくれない』・『指導員が続かない』など、さまざまな課題を抱えていることが分かった。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	少ない指導員で沢山の子供たちを見ること	31	45.6
2	子供たちが団体行動になれていないこと	16	23.5
3	家庭でのしつけができていないこと	41	60.3
4	受入れ終了時刻までの安全性の確保	22	32.4
5	施設周辺近隣からの苦情	6	8.8
6	障害がある子供への対応	38	55.9
7	その他	13	19.1
	無回答	1	1.5



【『その他』の回答】

個々の児童についてはあるが、全般には特にならない
病気になった子、怪我をした子への対応＋その子に手が取られた時の残りの子への対応
学校との連携(遊具のルール、指導方法)の難しさ
親が子供の状態の本当の事を知らせてくれない場合がある。
周辺環境
降所時の安全の確保、病気の子どもへの対応(突発的・持続的)
一斉下校で帰宅してしまう
IQは普通で、保護者の方は落ち着きがないとは思われているみたいですが、決まりは守れない、遊具は手を離して遊ぶ、怪我ばかりする、もう面倒見きれないなど感じる場合があります。
例えば、指導員が複数インフルエンザ等に感染した場合。 手作りおやつ等の衛生。
預けっ放しの保護者
指導員が続かないので、子供との関係を作りにくく保育が難しい

保護者との関係で困難なこと(MA) (N=68)

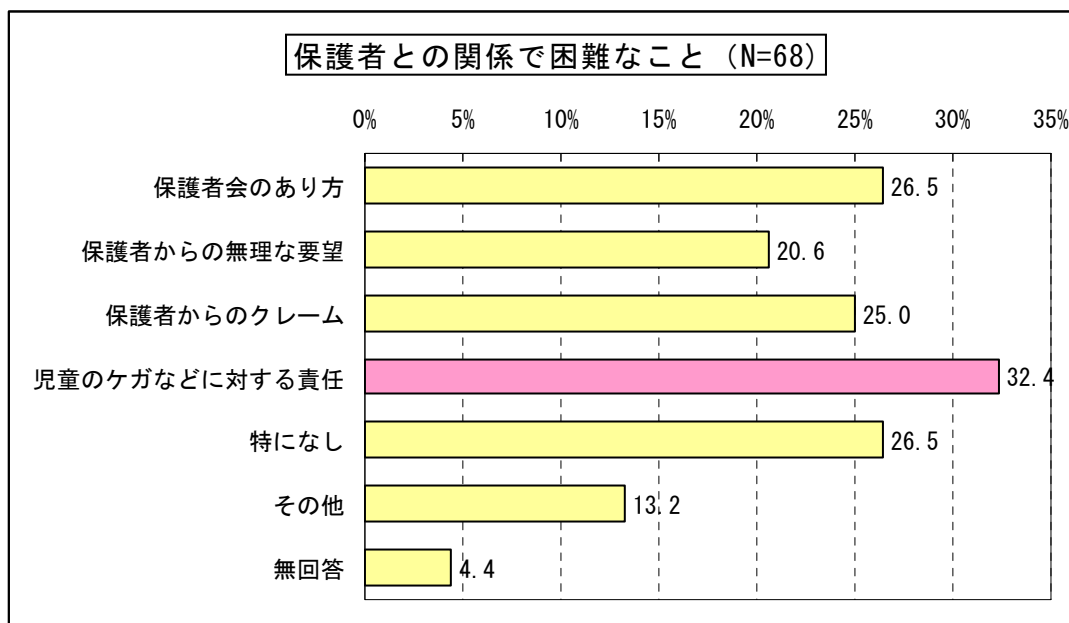
児童のケガなどに対する責任 32.4%

保護者との関係で『難しい』・『困った』と感じることについて複数回答で選んでもらった。

その結果、『児童のケガなどの対する責任』と答えた施設がもっとも多く 32.4%だった。続いて『保護者会のあり方』と『特になし』が 26.5%、『保護者からのクレーム』が 25.0%だった。

『子供のケガ』『保護者会』『保護者からのクレーム』について、多くの施設が『難しい』・『困った』と感じている一方『特になし』と感じている施設も 1/4 あることが分かった。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	保護者会のあり方	18	26.5
2	保護者からの無理な要求	14	20.6
3	保護者からのクレーム	18	25.0
4	児童のケガなどに対する責任	22	32.4
5	特になし	17	26.5
6	その他	9	13.2
	無回答	3	4.4



【『その他』の回答】

自分が困ったことがあると、直接市や教育委員会に訴える
学校や友人関係についての相談。療育の相談。
本当にクラブに通わせる必要があるのかと思われる欠席がちな子・親への対応
保護者との連絡が不十分。意思の疎通が取りにくい事。
保護者もなく、コミュニケーションがない。
怪我をした場合、親からクレームはないが責任を感じてしまいます。
声かけをしないで帰ってしまう事があること(指導員へ)
預けっ放しの方も中にはいること
任せっきりの姿勢

指導員の待遇の見直し(MA) (N=68)

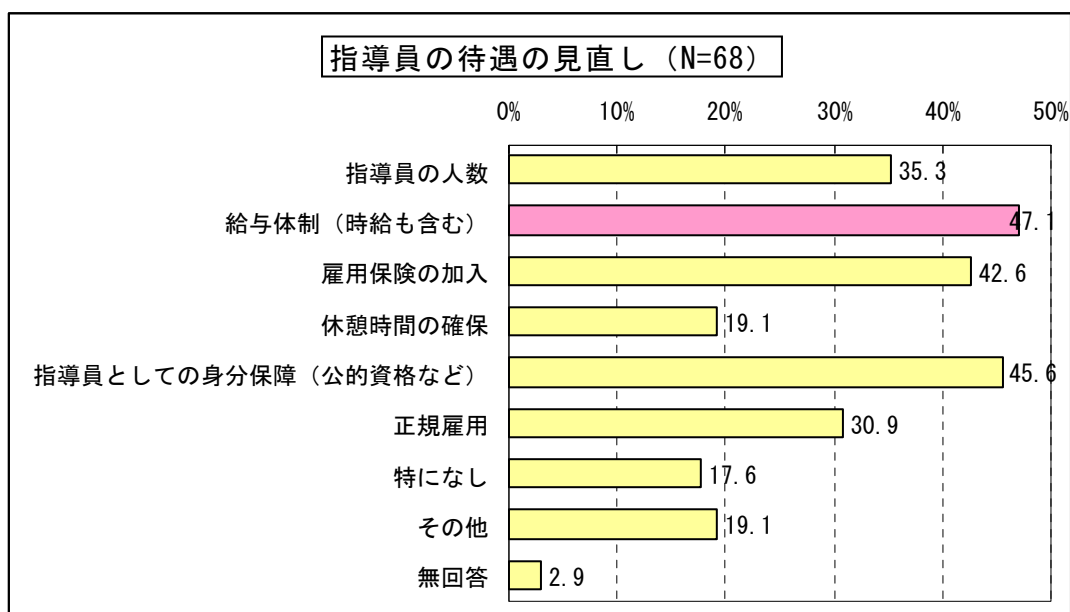
給与体制(時給も含む) 47.1%

指導員の待遇について見直して欲しいと思うことを複数回答で選択してもらった。

その結果、『給与体制(時給も含む)』が47.1%でもっとも多かった。続いて『指導員としての身分保障(公的資格など)』が45.1%、『雇用保険の加入』が42.6%で、いずれも4割を超えていた。

『その他』の回答より、『社会保障』『有償ボランティア』などの課題も見えてきた。

選択番号	選択項目	(n)	(%)
1	指導員の人数	24	35.3
2	給与体制(時給も含む)	32	47.1
3	雇用保険の加入	28	42.6
4	休憩時間の確保	13	19.1
5	指導員としての身分保障(公的資格など)	31	45.6
6	正規雇用	21	30.9
7	特になし	12	17.6
8	その他	13	19.1
	無回答	3	2.9



【『その他』の回答】

責任者があいまいである

自然に囲まれた環境でのびのびと生活でき、衛生面も行き届いている。

”有償ボランティア”のできる域をすでに超えている

経験加給制度が欲しい。1年目も20年目も同じ給与というのは、如何なものか。

放課後児童クラブで生活する時間(年間トータル)の方が、学校にいる時間より長いというのにその指導にあたる指導員がボランティアというのは、どうかと思う。全国の自治体で学童保育をボランティアで回しているのは1%前後と聞いている。公務員とまではいかなくても法人格のある団体職員ぐらいにはできないものか。

<p>学校の空き教室を貸してもらって保育しています。そのため、施設増設や人数増加に対応するための設備の増加に制約があり困っています。もう少し柔軟に対応して欲しいです。</p>
<p>有償ボランティアではできない仕事だと思う。服務規程もない職場で怪我もできない状況</p>
<p>退職時の整備、勤務時間の延長、産休・育休などの保障</p>
<p>研修や旅費、通勤費、有給などがあれば</p>
<p>社会保険への加入</p>
<p>地域運営委員会方式で、善良な地域運営委員の方々が雇用主になって、社会保険を付けているけれど、100人規模の児童数と10人の指導員体勢で、ここまで学童が膨れ上がっているのに運営委員会にゆだねるのは、限界なのではないかと思う。行政が責任を持つべきだと思う。</p>
<p>子ども達がだんだん前を向いて話しが聞けない。決まりが守れない子が増えているので、50人を2人で見るとは難しい。</p>
<p>社会保険、退職金等</p>
<p>障害児に対する指導員の加配</p>
<p>最優先は社会保障</p>
<p>勤めに来る人が少なく、60歳以上の方がハローワークから来る。人材確保。</p>

施設についての要望(記述) (n=45)

施設についての要望
狭い。エアコンの設置。
施設が受入れ人数が多く、子供間のトラブルの原因にもなる。 また、病気等の子供を寝かしておくスペースを確保できない。もう少し人数(収容する)を減らし施設の広さを確保でき余裕を持って子供達に接したい。
広さ(体調不良の子供を休ませる場所がない)
施設が狭い。
プレハブ教室に手洗い場が欲しい(プレハブ教室を出て、靴を履かないといけない。台所に1つ水道があるのですが、混雑します。)
狭い。出入り口が1つしかなく、不審者等侵入された時や火災時など避難口の確保ができない事も予想されること。 水道が台所に1つしかなく、手を洗う(おやつ前等)時に学校のトイレを使用しており、衛生面や離れている事に問題あり。 電気の容量の関係で、照明を増やすことは無理と言われているが、雨の日や夕方、学習するには暗い。 廊下・トイレは、学校開設中は全児童が使用する為、しきりがなく行き来している。 クラブとして独立している事がなく、又学校休業日等も校内に入れる為心配。
指導する者が沢山いれば、沢山の子どもたちが見られるというものではなく、60人、70人を超える子どもたちが1つの箱の中に詰め込まれる生活では、安定は得られ難いと感じます。 適正な人数で、適正な広さ、設備の中で、放課後の生活が送られるようになるよう要望していきたいです。
児童が急に病気になった時、休息(寝ることが)できるスペースがあればなあと思う。
子供たちは、外遊びが大好きで運動場いっぱい使っています。現在困っていることは、別にありません。
生徒の数が少ないので、利用者が少ない。利用者が少ないため、保護者の負担が多くなる(お金も)。
障害児加算があることで運営費が助かっている。 学校内に施設があることで制限が生じる(ルール、遊び方)。 施設内を生活室と職員室で分けて欲しい。
もう少しでも広くして頂けたらと思います。
手洗い蛇口が極端に少ない。ワンフロア構造で、事務室や静養室などの区切りがない。
個室がないため、個人への対応が難しい。
2施設で運営しているが、①子どもの静養スペース(専用)の確保②事務スペースの確保③シャワー室の設置④トイレの増設などを要望したい。
設置基準をきちんと作り、子ども達の安全・安心が守れるようにして欲しい。
子どもがゴチャゴチャとしている感じがかわいそうです。 プレハブを建てて頂いているが、台風等の時は安全面からも子どもを預かれない。 トイレの失敗にしても、シャワーもなく着替える場所もないので机の影で着替えている。2棟あるが、トイレが2つだった。(2月に2つ増設されて、うれしい。計4つ) 風が吹くと渡り廊下、トイレの前がびしょ濡れになり、傘を差す程度。パニックを起こした子どもを落ち着かせる部屋が欲しい。
クラブからトイレが遠い。クラブ内に手洗い場が欲しい。
静養スペースがないこと。事務スペースがないこと。人数に比べてとても狭い。トイレの数(2つ)が足りない。手洗い場も少ない。靴脱ぎ場が狭くて、雨の日など大変危険である。施設・設備費がない。

衛生的な事を考慮して、簡易トイレが古く、水が流れにくい時もあるので、良くなればいいと思います。
防犯面
建物の老朽化
近隣にマンションが増えてきているので、学童希望者も更に増えることが予想される。待機児童が増えれば、校外施設も考えないといけない。 年収が、150～200 万弱なのでなかなか若い指導員が居付いてくれない。 定員を増やして欲しい保護者の気持ちは良く分かるが、施設の大きさも限られているので、詰め込む訳にはいかない(安全の為に)。そういう意味でも行政が責任を持って保護者が安心して働けるように子どもが豊かに育つよう考えて欲しい。
学校の空き教室利用の為、トイレが学校施設のものを共用しているので、修理等の要望がなかなか通らない。
専用のトイレがない。熱等の時、御迎えまで 2 畳ほどでもコーナーがあれば。
施設の広さ。子ども達が自由に色々遊べる広さが欲しい。
専用の施設を子供達に作ってやりたい。 各学校の空き教室で保育ができれば良いが、この地域ではそれぞれの学校にそれぞれ指導員を配置するとなると補助金の不足でクラブが運営できないのではないかと。 タクシーで迎えを行なっている為、クラブが交通費を負担している。本来、指導員や子供達に還されるべき補助金が、タクシー代になり不公平感を感じる。タクシー代を市に負担してもらえると有り難いです。
指導員の数が、児童 50 人まで 2 名という基準は見直して欲しい
児童が調子の悪くなった時、迎えに来るまでの間、休ませる場所がない。
修理等の改善について、市の許可が必要で運用が難しい(弾力性がない)。
校外の離れた所に施設があり、公共の場を借りているため、校内にある場合と比べ、活動内容に工夫が必要である。
施設を広くして欲しい クラブのすぐ横の運動場を使いたいが、近隣から子供の声・ボールの音がうるさいのでクレームがあり、使用できないこと。 1 日保育(夏休み・春休み・冬休み)に OB を含むと 70 人からになり大変です。アルバイトの方を探すのが大変です。
校外施設の賃貸料が高い(しかし、補助を頂いているのでなんとかなっている)。 児童数の増減によって運営費が左右されるのは苦しい。 温水シャワーがあればいいなあと思うこともある。
運営費:1～3 年生の人数によって補助金の額が決定するため予算がたて難い。 ワンフロアのため、静養室がない(体調の悪い子が休みにくい)
保健室が必要(急な対応が難しい)。一人当たりの面積が狭い(1 部屋に 40 人)。
特にありませんが、発達障害の子がパニックになった時に、一人になれる空間があれば対応がし易いのではと考えます。
片親家庭から運営費補助がないのか問い合わせがある。 入所(募集)など、岡山市で統一して欲しい。 正規指導員数をクラブの児童数に合わせて増員して欲しい。

<p>施設は、学校の余裕教室を2部屋クラブ用に使わせて頂いており、専用のプレハブ施設と合わせ3部屋に分かれての保育を行なっている。</p> <p>学校内施設は、トイレが遠く不便。</p> <p>学校内施設と専用プレハブ施設が離れているので隣接していれば子供同士も行き来しやすく指導員も連携し易いと思う。</p> <p>運営費の収入は、児童数によって変わるため指導員の継続雇用への保障がたて難い。</p> <p>現在、当クラブは3名が社会保障に加入しているが、他4名は未加入である。運営費収入を考えると全員の加入は無理な状況であることも問題だが、ボランティアである運営委員会が雇用主となり加入していることで大きな負担を負ってもらっていることも問題である。</p>
<p>休養室がない</p>
<p>施設がもう少し広ければ(勉強する子と遊ぶ子を別々にしてやりたい)</p>
<p>現在小学校から離れた場所で、ある施設を借りて運営しているが、校内の施設での運営を要望している。</p> <p>学区が広く、保護者の迎え等の負担も考えると学区内に少人数複数設置が望まれる。</p>
<p>小学校内は広く、コンクリートなので声が響いて新しく入ってきた指導員は皆頭痛になる。</p> <p>小学校外は、居住が周りにあるのでご近所の方に子供の声とか気を使いながらの保育。</p>
<p>障害のある子ども達がクールダウンしたり、落ち着くことのできる個室があれば良いと思う。</p> <p>雨の日など部屋で過ごす時に、幼稚園のようにプレイルームがあれば良いと思う</p>
<p>学校内の空き教室を利用させて頂き、体育館や校庭等に使うことが出来たり、先生方とのコミュニケーションもとれ、子供達との関わりもスムーズにできとても助かっています。</p>
<p>雨の時に施設内で全員が遊ぶ場合、狭いと感じます</p>

学校や教育委員会への要望(記述) (n=34)

学校や教育委員会についての要望
情報を下ろして欲しい。一緒に話し合える場が欲しい。養護の先生に協力して欲しい。
10人以下で3年間の期間も今年1年で終了となり、当クラブの閉鎖になるのがさみしいです。 22年度は、6人ぐらいの予定です。
プレハブ教室と職員室の直通電話を外された時、不安でした。
学校(担任等)との継続的(定期的)な連絡会が必要かと思われます。指導の連携・連続性・継続性が必要な子が 増えていると思われます。
良い関係作りができています
同じ学校の子どもたちであるという視点でともに情報を共有し、子どもを真ん中にして保護者、学校、学童(指導 員)が協力し、成長を見守り、その子その子の課題を見つめていけるような関係でありたいと思っています。
校長先生や教頭先生には良くクラブの事を気にかけて頂いていますが、担任の先生との関係は、年々希薄になっ ているような気がします。残念です。
現在当クラブは、学校に従って運営しています。学校も協力的で、困ったことがあれば校長先生、教頭先生にすぐ に相談をしています。
人口を増やして欲しい
学校の協力、理解が得られていることは本当に有り難い。(校長・教頭の協力がある) ただ、校長・教頭の転勤などで代わる場合、必ずしも理解のある方ばかりではないと思う。それが心配。
指導員の待遇を教員程度(市職員)にして欲しい。
学校とは目的(ミッション)の異なる子育て支援の施設としての学童保育と学校との連絡会議の充実を単校レベル ではなく教育委員会のレベルで取り組んで欲しい。
学校ではなく、子ども福祉課が独自に施設を増やして欲しい
放課後、家から学校へ遊びに来ている児童と児童クラブに加入している児童と一緒に遊んでいることが多く、区別 して指導するのが難しい。家から学校へ遊びに来る場合のルール作りを学校の方でもしてもらいたい。
子どもの状態などをお互い共通に情報交換できる場を持って欲しい
子供達の平素な様子等を視察・巡回して、現場の声を聞く事も大事なのではないかと思います。
少人数でも補助金を
学校は、連携プレーで良くしてもらっていると思う。協力体勢が出来ている。担任団の先生方と懇談を持ったり、気 になることについては学校に出向いたり、来てもらったり等、毎日小学校へ郵便物を取りに行っている、こまめ に連絡を取り合っている。情報・意見交換は、できている。
学校の先生が保護者の方に生活習慣、規則正しい生活をさせるよう話して欲しい。
学童の対象年齢を変更して欲しい。 利用人数の変更(学校の大きさで受け入れ人数が違ってくるので、統一にしないで欲しい)
空き教室が無理なら、学校の敷地内に保育施設を作って欲しい。夏休みは、体育館内で保育をしているが、暑さ と到着する場所がないことで、毎年体調不良が絶えません。化して頂いている為、沢山の制約の中で1日を過ごし ています。
学校との情報の共有をしたい(個人情報の関係で難しくなっている)
同じ小学校の児童なので、学校の先生方は大変良くして下さい。困った時は、職員室に行って相談していま す。
校長、教頭の協力を頂いている。以前に比べて改善された。

<p>学校にはとてもお世話になっています。</p> <p>学区外からの転入希望者に学童の児童預かり証明と就労証明があれば希望する学区に転入できるという制度がありますが、児童の預かり先として学童はどうかと思います。想定外の学区外からの希望者数に困惑しています。</p>
<p>連携をしているので特でない。</p> <p>一年生担任団との懇談・通信の交換等いつも協力して頂いて感謝している。</p>
<p>クラブのあるこちらの小学校は、クラブの子が過ごし易いように体育館など学校施設を適宜利用させてくれている。</p> <p>子どもの様子についてもやり取りし易いので、このまま良好な関係でいたい。</p> <p>教育委員会は、放課後子ども教室の実施について現在どのように方向づけているのか。</p>
<p>入所児童について、担任との連絡会を持ちたい。(問題を起こす子の)情報共有</p>
<p>夏休みとアルバイトの確保は苦勞する</p>
<p>協力していけたら良い</p>
<p>小学校と違ってクラブ内では子供達の解放感もあり、学校で見せない顔を沢山見せるので情報を交換する必要があると思います。私達のクラブと学校との関係は、良いので時には先生方にアドバイスを頂いて子供達への対応もスムーズにできています。</p> <p>発達障害の専門的な人材を定期的に派遣して下さるとか、専門的な人材育成の制度を確立するとかが必要ではと感じています。</p>
<p>小学校には、校内での運営を受入れて欲しい。</p>
<p>障害のある子供を受け入れ始めて、やはり沢山の人の中での生活は厳しいものがあります。クラス替えも不安定になるので、同じ条件の場所で、少ない人数での子供の生活が適していると思います。</p>
<p>学校が大変協力的なので特に問題ありません。</p>

その他の意見(記述)

その他の意見
雨の日に体育館を使わせて頂きたい。
現在多くのクラブの指導員が年齢的に 10 年後勤められるのか？年齢的なバランスが悪い。しかし、若い人が職には就いてくれるが、働き続けられる条件にないことが心配な所です。有償ボランティアなどと呼ばれる人々が、この実状を主に支えている現状がいつまで続けられるのでしょうか。”有償ボランティア”などの言葉は使わないと行政は説明されたと思います。責任持って働こうとする人にとっては、不本意な呼ばれ方であると思いますが、指導員に責任問題の追及がされない為のご配慮なのではないでしょうかとも思います。放課後児童クラブを今後どのようにして行くつもりなのか方向性を早く示して、計画的に進めないと財政難の折、急な対応は、岡山市としては無理なのではと思います。
岡山市では、”公設民営”、”運営委員会補助”という方式の曖昧な運営形態です。地域の子どもとして地域運営委員会が責任を持つということはとても大切なことだと思います。但し、その責任というのは”どこまで”という悩みやジレンマは尽きません。行政にとっても”どこまでの責任があるか”という追求は、今後も考えていって欲しいと願っています。
学校の協力のもと、運営委員長・運営委員の皆さん・保護者の協力で子供たちは放課後を過ごしています。
子どもの住環境と共に、指導員の身分保障、職務内容の明確化が必要だと思います。
運営委員会方式は、地域の事情に合わせて柔軟な運営ができる点は評価できるが、しかし、ここまで学童クラブが巨大化しその予算も 1500 万円を超えるようになると、とても有志の方をお願いする範囲ではないと思う。また、保育中の事故や公的な部分の多い指導員の仕事など市の事業とするべきだと思う。
一人一人の子供が笑顔で過ごしてくれる事が一番嬉しく思います。その反面、一人でもつらい顔の子が居るところまで辛くなります。一人でも多くの子供が幸せに過ごせるよう微力ですが、頑張りたいと思っています。このようなアンケートを実施して下さってありがとうございます。いろいろな面で期待しています。
国は、保育基準をきちんと定め、指導員の資格をきちんとすべきだ。学童保育のニーズもこれだけ高まり、社会的認知度も広がっているのに、いつまでも地域連合方式では、限界があると思う。無理だと思う。公的な所、行政、国が責任を持つべきだと思う。
学校で何時間も勉強してきて、「ただいま」とクラブに帰ってくる。「ほっ」とできる居場所づくりを目指していますが・・・、ついつい決まりが守れなくて注意をしてしまいます。
小学校と小学校の中間地点に施設(コミュニティハウス)がある為、タクシーでの迎えを行なっているが、迎えの子供の人数が少ない時間帯は、指導員の車で迎えに行っています。タクシー代節約の為ですが、事故が大変心配です。 コミュニティは、外部の出入りが自由なことと、周りにほとんど民家がないので、安全確保ができません。
働き易い職場としての安定性が欲しい。
まだまだ社会的に認識されていない学童保育。指導員の仕事の中身はとても多く大変さを実感している。しかし、やりがいのある仕事であると思われます。岡山市の学童保育に関わる全ての指導員に格差なく働けるよう政治力を発揮して頂きたい。
土曜日保育は、10 名前後の利用者なので市からの補助も受けられず保育担当者への人件費を利用者負担額(現在 1 回 1200 円)からも考慮し、17 時 30 分までの開設となっている。ちなみに、人件費は時給 900 円。18 時 30 分からの希望はあるが、要望に応えられない状況である。
事務など雑務はカウント外 母子家庭への軽減、2 人目の軽減に支援をして欲しい
社会保険がないので、職安に出そうとしてもいい返事が返ってこない。

市の補助金による児童クラブ(地域運営方式)にも限界があるのではと感じる時があります。指導員の確保、質、専門性、色々な事が異なるのでクラブも地域によって様々です。私達のクラブは、小規模で地域の方々に支えられて子どもを地域で育てていくことを実践できていると思っていますが、クラブと地域がうまくいかない所もあるでしょうし、大規模になると運営も大変になってくると思いますし。

今後は、民間の児童クラブができてくるかも知れないとも思える今日この頃です。

1 施設での児童数の適正人数は40人までだと思う。指導員の人数をいくら増やしても、指導員一人対子供全員になるので見切れない状態です。

部屋の中もざわざわと落ち着かず、ちょっと身体がぶつかったとトラブルにもなります。現在国も70人を超えると2施設という事になっていますが、40人を超えたら2施設という方向へ持って行って欲しいと思います。

沢山の子供の安全を守り、成長を見ていく仕事だと思っているので、「有償ボランティア」という言葉を使われるのはどうかと思っています。ボランティア感覚でしている指導員はいないと思います。この調査によって岡山市の学童保育がよりよい方向に進んでいくことを望みます。

放課後児童クラブについてのアンケート

平成 22 年 2 月

○ 児童クラブについて

問1. クラブのモットー（指針）を教えてください。

問2. 平成 21 年度の『定員』は何人ですか。

_____ (人)

問3. 平成 21 年度の『応募者数』は何人くらいでしたか。

_____ (人)

問4. 定員を超えたときに優先させる選考基準をお選びください。

(当てはまるものすべてに○)

- ①母子・父子家庭 ②共働き
- ③父・母どちらかが入院 ④父・母どちらかに障害有り
- ⑤同居の祖父母等無し ⑥同居の祖父母等も就労中
- ⑦特に基準はない
- ⑧その他 (_____)

⇒次のページへ

○ 保護者からの要望について

問5. 現在、土曜日に受け入れを行っていないクラブにお聞きします。

保護者から『土曜日の開催』を望む声はありますか。

(○は1つだけ)

- ①とても多い ②時々ある ③ほとんどない ④全くない

問6. 平日の受入れ時間は何時までですか？

_____ (まで)

問7. 保護者から『受入れ時間の延長』について要望が多いのは何時までですか。

(○は1つだけ)

- ①17時まで ②17時30分まで ③18時まで
④18時30分まで ⑤19時まで ⑥19時30分まで
⑦20時まで ⑧それ以上
⑨延長の要望は特にない

『⑩延長の要望はあるが何時までかは不明』を集計・分析において追加。

問8. 保護者負担金（おやつ代は別）をどのように感じている保護者が多いですか。

(○は1つだけ)

- ①負担に感じている ②少し負担に感じている
③適正だと感じている ④安いと感じている
⑤分からない

⇒次のページへ

問9. 定員について保護者からどのような要望がありますか。

(○は1つだけ)

- ①今のままで良い
- ②定員をもっと増やして欲しい
- ③定員をもっと少なくして欲しい
- ④その他 ()

問 10. 受入れ対象学年について保護者からどのような要望がありますか。

(○は1つだけ)

- ①今のままで良い
- ②小学校4年生までにして欲しい
- ③小学校5年生までにして欲しい
- ④小学校6年生までにして欲しい

問 11. 保護者から施設のこと、不安に感じていることや気になることとして指摘されたことはどのようなことですか。

(当てはまるものすべてに○)

- ①施設の広さ
- ②施設の安全性
- ③建物の老朽化
- ④学区内の施設数不足
- ⑤特にない
- ⑥その他 ()

問 12. 『こういったことも教えて欲しい』、『こういったことが出来たらいいのに』など、保護者からどのような要望がありますか。

⇒次のページへ

○ 運営上の課題や指導員がお困りになっていること

問 13. 児童を預かるうえで、『難しいな』と思ったことや『困ったな』と思った

ことはどのようなことですか。

(当てはまるものすべてに○)

- ①少ない指導員で沢山の子供たちを見ること
- ②子供たちが団体行動に慣れていないこと
- ③家庭でのしつけができていないこと
- ④受入れ終了時刻までの安全性の確保
- ⑤施設周辺近隣からの苦情
- ⑥障害がある子供への対応
- ⑦その他 (

問 14. 保護者との関係において『難しいな』と感じたことや『困ったな』と感じた

ことはどのようなことですか。

(当てはまるものすべてに○)

- ①保護者会のあり方
- ②保護者からの無理な要求
- ③保護者からのクレーム
- ④児童のケガなどに対する責任
- ⑤特になし
- ⑥その他 (

問 15. 指導員の待遇について見直して欲しいことをお選びください。

(当てはまるものすべてに○)

- ①指導員の人数
- ②給与体制 (時給も含む)
- ③雇用保険の加入
- ④休憩時間の確保
- ⑤指導員としての身分保障 (公的資格など)
- ⑥正規雇用
- ⑦特になし
- ⑧その他 (

⇒次のページへ

問 16. 施設（運営費・広さ・校外施設利用・衛生面など）についての要望、
もしくは、現在困っていること等お聞かせください。

問 17. 学校や教育委員会についての要望等お聞かせください。

その他ご意見がございましたらお聞かせください。

～ ご協力ありがとうございました ～